

本明川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和7年度の取組実績を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- メディアと水防災、河川、ダム、砂防事業等をわかりやすく伝えるための勉強会を実施(県1)
- 流域市内の小学校から環境学習等の機会を利用して河川事業、ダムの役割や効果、必要性を説明(国:2回180人)
- 自然災害伝『諫早大水害を語り継ぐ』の継承、自然災害に関する啓発活動(国・県・1市・気:1回200人)

流域治水の広報

- 広報誌(県1市3)、テレビ「みじかなナガサキ」(県1)、FM長崎(県1)FM諫早(国9市1)にて、水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(県14回)
- 本明川防災・河川・ダム事業パネル展(国、ダム、1市:1回)
- 河川空間の利活用を通じた意識醸成(「水辺で乾杯」1箇所、約50人)
- 地域イベントへの出展(国4ダム6)
- バスツアー(ダム:1回・60人)

教育活動

- 自治会等からの依頼による防災講話(国、ダム:1回50人)
- 各機関、または連携による研修会等(1市10回100人)
- 防災士資格取得補助金支援(1市50人)
- 長崎大学教育学部学生への防災教育(国、気:1回110人)
- 小中学高校への防災教育・出前講座等の開催(国:6回390人)
- 河川協力団体と流域治水を実践するための勉強会の開催(国:2回30人)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1市)
- ハザードマップの周知(配布:6,800枚)および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組(1市)

リスク情報等の提供

- 防災行政メール・緊急速報メール、メディアと連携による洪水・土砂災害危険度情報等の情報提供(国、県、2市)
- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表(県管理区間)
- 内水浸水想定区域図の指定(1市)
- 内外水一体型の多段階浸想図・水害リスクマップの公表(国)
- まるごとまちごとハザードマップ取組(想定浸水深標識板設置 104枚)(1市)
- 防災ハザードマップ(Web版)への浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の更新、市HPでの公開(1市)

水防活動の支援

- 災害時の応援協定
- 水防団の情報伝達体制の強化(国・県・2市・気:1回)
- 水防倉庫の管理(1市23箇所)

水災害対策の支援

- 出水期に備え水防資材等の購入を行う自治会への支援(補助金)
- 自主避難所を開設するための自主避難所改修支援事業費補助金(1市)
- 出水期前の水防資材配布(土のう袋希望者)(1市)

計画策定

- 特定都市河川の指定に向けた検討(1市)
- コミュニティタイムラインの運用(1市25自治会)
- 本明川流域タイムラインの運用(1市)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 市地域防災計画の修正・公表(2市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

本明川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和8年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる (自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- メディアと水防災、河川、ダム、砂防事業等をわかりやすく伝えるための勉強会を実施(国・県・2市:1回)
- 流域市内の小学校から環境学習等の機会を利用して河川事業、ダムの役割や効果、必要性を説明(国:2回)
- 自然災害伝『諫早大水害を語り継ぐ』の継承、自然災害に関する啓発活動(国・県・1市・気:1回)

流域治水の広報

- 広報誌(県1市3)、FM長崎(1)FM諫早(国9市1)にて、水害・土砂災害に関する啓発活動を実施(14回)
- 本明川防災・河川・ダム事業パネル展(国、ダム、1市:1回)
- 河川空間の利活用を通じた意識醸成(「水辺で乾杯」1箇所)
- 地域イベントへの出展(ダム:6回)
- バスツアー(ダム:1回)

教育活動

- 自治会等からの依頼による防災講話(国、ダム:1回)
- 各機関、または連携による研修会等(1市10回)
- 防災士資格取得補助金支援(1市)
- 長崎大学教育学部学生への防災教育(国、気:1回)
- 小中学高校への防災教育・出前講座等の開催(国:4回)
- 河川協力団体と流域治水を実践するための勉強会の開催(国:2回)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(1市)
- ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組(1市)
- 本明川総合水防演習(国・ダム・県・2市・気:1回)

リスク情報等の提供

- 防災行政メール・緊急速報メール、メディアと連携による洪水・土砂災害危険度情報等の情報提供(国、県、2市)
- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表(県管理区間)
- 内水浸水想定区域図の作成(1市)
- まるごとまちごとハザードマップ取組(想定浸水深標識板設置)(1市)
- 防災ハザードマップ(Web版)への浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の更新、市HPでの公開(1市)

水防活動の支援

- 災害時の応援協定
- 水防団の情報伝達体制の強化(国・県・2市・気:1回)
- 水防倉庫の管理(1市23箇所)

水災害対策の支援

- 出水期に備え水防資材等の購入を行う自治会への支援(補助金)
- 自主避難所を開設するための自主避難所改修支援事業費補助金(1市)
- 出水期前の水防資材配布(土のう袋希望者)(1市)

計画策定

- 特定都市河川の指定向けた検討(1市)
- コミュニティタイムラインの運用(1市25自治会)
- 本明川流域タイムラインの運用(1市)
- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- 市地域防災計画の修正・公表(2市)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を生み出す。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
① 知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 地域 個人 企業・団体	広報誌、FM長崎、FM諫早にて、水害・土砂災害を啓発			
	◎連携活動 地域 個人	県広報誌 ●	● 本明川パネル展	● 水辺で乾杯	
② 自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	メディアと水防災、河川、ダム、砂防事業等をわかりやすく伝えるための勉強会			
	◎教育活動 地域 個人	メディアとの勉強会 ●	● 自然災害に関する啓発活動	● イベント参加	● バスツアー、イベント参加 ● 小学校の環境学習等の機会を利用し、ダムの役割・必要性等を説明
	◎訓練活動 地域 個人	『諫早大水害を語り継ぐ』			
	◎リスク情報等の提供 地域 個人 企業・団体	防災行政メール・緊急速報メール、メディアと連携による洪水・土砂災害危険度情報等の提供			
	◎教育活動 地域 個人	浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の公表			
	◎訓練活動 地域 個人	まるごとまちごとハザードマップ取組（想定浸水深標識板設置）			
	◎教育活動 地域 個人	防災ハザードマップ（Web版）への浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の更新、市HPでの公開			
	◎教育活動 地域 個人	高校生への防災教育 ●	● 防災講話		● 長崎大学教育学部学生への防災教育
	◎教育活動 地域 個人	小中学校における防災教育、出前講座			
	◎訓練活動 地域 個人	● 河川協力団体との流域治水の勉強会		● 河川協力団体との流域治水の勉強会 ●	
③ 行動を誘発する	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	防災士資格取得補助金支援			
	◎水災害対策の支援 地域 個人	● 総合水防演習			● 住民参加型避難訓練 ●
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
	◎計画策定 地域 個人 企業・団体	特定都市河川の指定に関する検討			
	◎水災害対策の支援 地域 個人	本明川流域タイムライン・コミュニティタイムラインの運用			
	◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保			
	◎水災害対策の支援 地域 個人	防災計画の修正・公表（雲仙市）			防災計画の修正・公表（諫早市）
◎水災害対策の支援 地域 個人	水防資材等の購入支援（補助金）				
◎水災害対策の支援 地域 個人	自主避難所を開設するための自主避難所改修支援事業費補助金				
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	希望する市民への土のう袋の事前配布				
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	● 水防団の情報伝達体制の強化				
◎水防活動の支援 地域 個人 企業・団体	災害時の応援協定、水防倉庫の管理				